

山形県男女共同参画センター

# CHERIA チエリア

vol. 47  
2016.Winter

〈特集〉チエリアフェスティバル  
山形2016

## Contents!

- ▶ 平成28年度  
男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰  
及び山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰
- ▶ チエリア塾基本コース in 最上
- ▶ チエリア相談室からのお知らせ
  - ・平成28年度相談機関実務者研修会
  - ・パープルリボンプロジェクト2016 in YAMAGATA

- ▶ チエリアの仲間になりませんか?  
CHERIA登録団体紹介
- ▶ 高木館長のコラム
- ▶ 図書コーナーのご案内

# チェリアフェスティバル山形2016



お茶席、ポプリなどを作って遊べるコーナーや生け花体験、そして地域のおいしい野菜や加工品の販売などが行われました。

**県民交流コーナー**  
(チェリア登録10団体)



**ヒロティ**  
にぎわいコーナー



日頃の活動の様子や、男女共同参画に関する情報の展示を行いました。

**展示発表**  
(チェリア登録12団体)



今年度初めて行った、屋外でのにぎわいコーナー。「県庁そば研究会」によるそば打ちの実演と試食、バルーンアート、「だしがや楽校」による折り紙・パステル画の作成体験、そして、「こんにやく道場」による玉こんにやくの移動販売を行い、多くの方の憩いの場となりました。

～いいね!だれもが主役 ささえあう未来へ～

10月16日(日) 9:20～16:00 於:遊学館

セミナーや会員作品展覧会などのワークショップを行いました。



平成28年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰式及び活動内容発表(詳細は4ページをご覧ください)

**ワークショップ**(チェリア登録7団体)

**知事表彰**



山形明正高等学校伝統芸能部のパフォーマンス。場所を変えて3回披露された迫力あるパフォーマンスは、来館された方を魅了していました。



山形人権擁護委員会による人権ダンス。人権イメージキャラクターの「人KENまもる君」と山形市のゆるキャラ「はながたへこちゃん」も参加してにぎやかに行われました。

**アトラクション**

**ロビーパフォーマンス**



実行委員長の村山恵美子さん(桜桃(チェリア)の会、チェリア塾ネットワーク)による開会の挨拶。



オープニングアトラクションでは、山形大学アカペラサークルの美しい歌声が、ホールに響き渡りました。

**オープニング**

チェリアフェスティバルは、今年で16回目を迎えました。秋晴れの当日は、記念講演会や男女共同参画社会づくりをめざして活動している団体のワークショップ・展示発表・交流コーナーなどが行われ、多くの方に来場いただきました。



私の手紙を持って、保健師たちは全戸3,000戸を回り、配布してくれました。自分が足りないところを補って支えてくれる人たちがいるから、組織として

◆**足りないところを補い支え合うことで成り立つ組織**  
職員はそれぞれの立場で考え行動してくれました。事故が起きて1週間経った頃、保健師が「ご家族と対面で話を聞きたいので、手紙を書いてください。」と申し出てきました。「事故の検証等が長引いているので、皆さま方の体調が心配です。生活面等お困りのことがあったら保健師に相談してください」とい

◆**マニュアルの無い災害現場で感じた「使命」**  
一方で私は、素晴らしいリーダーとは言えなかったかも知れません。前例がないので災害対策のマニュアルが役に立たず、私はたまたまの指示しか出せませんでした。一つ目は「自分の家族がこの事故に遭遇したと想定して誠実に対応すること」、二つ目は「すべての権限は現場に任せるので、現場で最善を尽くしてほしい」。時間との闘いなので、その時の状況で個人個人の判断に任せるしかないと考えたのです。  
救急消防部隊は事故発生以来35時間、飲まず食わずで救助救命活動を行っていました。私は消防局長に、救助隊員の二次災害を防ぐために一旦全員自宅に戻らせなさいと指示を出しました。近隣の応援部隊が待機していたので任せてもいいと思ったのです。ところが、消防局長は「これが私たちの使命です」と一歩も引きません。命を使うということ、それが「使命」です。こういう職業の人がこういう時に使う言葉なんだなと思いました。その後も、消防局長は現場の指揮官として撤収するまで現場を離れませんでした。

◆**健全な野心を持ち、努力してより高みを目指す**  
「もう歳だし、上に行くのなんてしんどいから嫌。」ではなく、健全な野心を持って、年齢、性別に関係なく、より高みを目指してほしいと思います。高いところから見る景色はやはり違います。3合目、5合目、7合目の景色はそれぞれ違います。頂上から見える景色は素晴らしいし、気持ちがいいです。頂上まで登る努力をしたことも自分で認めることができます。どんな大きな改革も最初は1人、小さなことから始まるのです。ですから自分の力をあきらめないでください。自ら一歩踏み出す勇気があれば、頑張っている人の応援にもなれます。一人ひとりがキーパーソンとして活躍されることを心から願っています。

## 講演会



### 男女共同参画と私たちの未来 ～意思決定の場に女性を～

前尼崎市長  
グンゼ株式会社社外取締役 **白井 文氏**

「男女共同参画と私たちの未来」意思決定の場に女性を」と題した白井文さんのお話は、市長を務めたご自身の体験から感じた「リーダーとしての姿」や「一歩踏み出す勇気」の大切さなど共感できることばかり。いつまでも輝ける女性たちへのメッセージがたくさん詰まった講演会でした。

#### ◆一歩踏み出すことで変わる男女共同参画

山形県は男女共同参画について、「とても積極的に取り組んでいる県」というのが私の認識です。例えば審議会等の委員会における女性の割合が48.8%、企業における女性の管理職の割合が全国平均7.1%に対して、山形県は13.9%。山形県は昔から共働きが多く、社会で働いている女性の率が全国でもトップクラスだということも裾野を広げる要因になっていたと考えられます。でも、「平成26年度ワークライフバランス及び男女共同参画に関する県民意識調査」の結果を見ると、まだまだ意識は変わっていないのも事実です。

山形県では男女共同参画計画の中で、目標の一つに「女性が様々な場面で活躍できるようにする」という項目があります。私の周りのがんばっている優秀な女性たちに「みんなが一歩踏み出す時が来たよ」というと、「とんでもない、私なんてまだまだです」という人が多いですね。本当はできるのに、固定的な性的役割分担意識が刷り込まれているのではないかと思うんです。女性に何か役割をお願いする場合は、頼み側も1回や2回断られたくらいで諦めず、なぜ、あなたなのかを明確に伝えてお願いをすることが大切です。本当に無理であれば誰も頼みません。頼まれる

#### ◆緊急時に判断できるリーダーシップと道徳心

私は、当選時全国最年少の女性市長として2002年～2010年まで2期8年間、尼崎市長を務めました。市長に就任して2年半経った4月25日、JR福知山線の脱線事故が起きました。107名の方が亡くなられ、合わせて600名を超える方々が被害者となった大惨事でした。その日の朝、事故現場近くのある企業では重要な会議を開いていましたが、社長は会議を中断して直ちに現場を確認し、230名の社員全員を集めて救助救命活動に当たるよう指示を出しました。その間わずか20分の行動です。その後3時間の間に92名を救助し病院に搬送しています。救助救命活動を瞬時に決断できる社長のリーダーシップと道徳心、倫理観というものが、組織にちゃんと伝わっていたのです。

◆**成り立っていることを改めて理解しました。**  
このように様々な出来事で成長させてもらい、なんと8年間の任期を満了することができました。生きたいと思っている人が突然なくなる場面を経験し、私たちは命をいたたいっている、生かされているんだなと思いました。そうして人生観が変わり、本当に世の中の役に立ちたい、社会を少しでも支えられるような仕事をしたいと思えるようになりました。

## チェリアフェスティバル山形2016

～いいね!だれもが主役 ささえあう未来へ～



# チェリア塾 基本コース in 最上 を開催しました

男女共同参画を学びたいまたはその推進に向けて行動したい女性を対象に、6月4日から5回連続講座として新庄市を主会場に開催しました。最上地域では初めての開催でしたが、最上在住のチェリア塾修了生の力を借りて一緒に作り上げた講座でした。

## 第1回 (6月4日) 「自分の棚おろし・自分の気づき」 （術）ティップス取締役社長 尾形恵子氏

ねらい：講座のスタートに当たって、自分のこれまでの生き方をふりかえり、自分を見つめ直してみます。男女共同参画を学ぶ前に、まずは真の自分に向き合ってみましょう。



### アンケートより

- 自分をふり返ることができた。夢の実現にチャレンジしようという気持ちが出てきた。
- 時間的にゆとりセミナーを受講でき、普段の生活の中では慌しくて考えることのできない将来像をまとめる貴重な時間となった。進め方も「聞く→考える→発表」が心地よいローテーションで、疲れず、飽きず、あっという間だった。



## 第3回 (7月2日) 「わたしと男女共同参画 ～これからの生き方を考える～」 山形県男女共同参画センター館長 高木直氏

ねらい：男女共同参画の現状を、様々な角度から探っていきます。また、自分のこれまでの軌跡を男女共同参画の視点から捉え、これからの生き方について考えます。



### アンケートより

- 男女共同参画について正しく理解し、日常生活の中で自分事として認識し気づくことが大切だと思った。さらにその気づきを言葉として発信する「言う」ことが次のステップになることも大事だと思った。なかなか言えないことも多いけど、勇気を出して言ってみようと思いました。
- 「人生相談」の大どんでん返し、思い込みの枠を体験できる素晴らしいワークでした。「区別は差別につながる」という言葉がとても印象的でした。



## 第2回 (6月18日) 「ジェンダーと人権～ジェンダー問題をめぐって～」 （公財）せんだい男女共同参画財団評議員 遠藤恵子氏

ねらい：私たちの周りのあらゆる場面に「ジェンダー」問題が潜んでいます。人権を尊重する社会を築くにはこの解決が不可欠です。具体的な事例から「ジェンダー」の本質を学びます。



### アンケートより

- ジェンダーというものをとてもじっくりと学ぶ機会が持ててよかったです。難しいイメージがありましたが、分かりやすく楽しく勉強にもなり、今後に活かしたいです。
- なぜ男女共同参画を学び実践するべきなのかを改めて確認できた。先生の言葉の選択が素晴らしい。偏りがなくて聞きやすかった。



## 第4回 (7月16日～17日) 「自尊心のコミュニケーションを学ぶ」 ①アサーティブとは何か？ ②アサーティブトレーニング 要求を伝える ③アサーティブトレーニング 自己信頼を高める オフィス「想」ネットワーク代表 中野満知子氏

ねらい：アサーティブとは、相手も尊重した上で誠実・率直・対等に、自分の要望や意見を相手に伝えるコミュニケーション法です。自分の感情や要求、意見の適切な表現方法を身につけましょう。



### アンケートより

- アサーティブという言葉にも初めて出会いましたが、これから生活全ての場面で活かせるコミュニケーション術を学べてよかったですと思いました。
- 自分自身を見直すきっかけになった。人に対して寛容になるためには、自分の権利を行使できていることが必要。自分に対してもっと誠実にいたいと思いました。そして自分の権利を行使していき、他人のことも受け入れられる大人の女性になりたいと思いました。



## 第5回 (7月30日) 「ふりかえりと次のステップへの踏み出し」 北海道教育大学教授 廣瀬隆人氏

ねらい：話を聞けば何かが学べるわけではありません。それをふりかえり、次に活かすべき何かを見出すことで人は学び成長します。そこを引き出しつつ、次年度の実践コースへの導入を確認していきます。



### アンケートより

- ふりかえりの意味、必要性がわかった。今まではふりかえりをせず、失敗したことに目を向けずよくよしていたが、次へ繋げるための「ふりかえり」を大切にしたいと思いました。
- 今回のチェリア塾で何かに気づけたような気がする。男女共同参画についても知らないことだらけだったのが知ることができた。自分の子供にもジェンダーのことについて教えていきたいと思う。



# 平成28年度 「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」及び 「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」受賞者

## 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰



多年に渡り男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった方や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた方などを内閣総理大臣が表彰している賞です。

**伊藤眞知子氏**（鶴岡市）・山形県男女共同参画審議会 会長・東北公益文科大学大学院 研究科長  
〈活動内容〉多年にわたり、本県の男女共同参画審議会委員を務め、平成20年からは会長として、本県の男女共同参画の推進に寄与している。平成23年3月策定及び平成28年3月策定の県男女共同参画計画においては、同審議会の会長として、県の男女共同参画を牽引し、男女共同参画の県民意識の醸成に大きく貢献した。また、県男女共同参画センターをはじめ市町村等における女性リーダーの育成や、東北公益文科大学における男女平等に関する研究等の活動を通じ、本県の男女共同参画社会づくりに大きく貢献している。

〈受賞のことは〉男女共同参画を進めるのに大事なことは二つあります。一つは、国、県及び市町村が法律を含めて政策的に制度を変えていくこと、もう一つは、パートナーとの関係や地域でのあり方など身近なところから変えていくことです。これまで、気付きを促すことに力を入れて取り組んできましたが、今後とも、皆様が輝いていけるようにお力添えができればと思います。

## 山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰

功労者表彰 多年にわたり、男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。



**井上弓子氏**（山形市）・高島電機㈱ 代表取締役会長・山形商工会議所 副会頭・株式会社銀行 社外取締役  
〈活動内容〉会社経営や山形商工会議所の第一線で活躍し、平成24年には山形商工会議所初の女性副会頭に就任。また、平成21年より「みやぎ・やまがた女性交流機構」の会長を務め、女性が能力を発揮・向上できる環境づくりに取り組んできた。氏の活動は、本県の職業生活における女性の活躍に大きく貢献している。

〈受賞のことは〉事業継承のために横浜からUターンして20年になります。会社経営の経験が全くなかった私は、知識や情報もあまりなく、不安を抱えながら今日までやってきました。女性が社会進出するためには、勉強すること、視野を広げること、あらゆる話題に対応できるように準備しておくことなどが重要なポイントだと思います。



**森谷昭江氏**（山形市）・新やまがたひゅーまんらいふフォーラム 事業部長・地域を元気にする会事務局長  
〈活動内容〉「新やまがたひゅーまんらいふフォーラム」にて、要職を歴任し、約20年にわたり男女共同参画を推進してきた。さらに、地域における女性の社会進出を進めるため「地域を元気にする会」の事務局長として活動し、本県の男女共同参画や女性の社会参画の促進に大きく貢献している。

〈受賞のことは〉私が男女共同参画や女性問題に関心を持つようになったのは、教育職を退職して間もなく、北京で開催された世界女性会議に参加したことが原点です。世界各国から集まった女性たちのいきいきした姿に圧倒されました。今後とも、世の中を変える力になればという思いで、活動を続けていきたいと思っています。

チャレンジ賞 仕事や地域活動など様々な分野でチャレンジし活躍している個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。



## 地域づくり応援団キラッとO～RA☆DA（大蔵村） 平成25年発足

〈活動内容〉最上のみなが輝きながら助け合える地域社会を目指し、活動を行っている。団体の主な活動は、1.地域再発見のための見直し、2.食を通じての異世代交流、3.自分磨きに役立つ研修（講演会）、4.最上地域みんなで子育て応援団とし、これらの下「最上の地域づくり」という同一の目的をもち活動するという点において、他の地域のモデルともなるものである。

〈受賞のことは〉会員構成は50～70歳代のじいちゃん、ばあちゃん世代です。年代・性別に関係なく気軽につながりながら、最上の地域づくりのための活動を行い、男女共同参画推進の拠点機能を目指しています。行政・民間などの枠を超え、無理をせず楽しみながら、私たちが地域に応援できることを探しつつこれからも頑張っていきます。



## やまがたイグメン共和国（山形市） 平成25年発足

〈活動内容〉「山形ならではの子育てをしたい」との思いを含め、「イクメン」を山形訛りで表し、多様な業種のメンバーにより構成されている。基本理念である「やまがたイグメン5カ条」に沿った各種イベントや学習会の開催、SNS等を活用した情報交換を通して、県内の子育て世代の父親のネットワーク化を図り、楽しみながら育児環境の向上に取り組んでいる。

〈受賞のことは〉女性の活躍は、イクメン・イクボスがセットになっていないと進みません。また、働きやすい職場づくりは企業戦略にもなりますし、働き方改革にもつながっていきます。子供と一緒に楽しみながら、山形の良さや子どもの世代に何を残していけるかなどを考えつつ、育児環境の向上に向けた活動を続けていきます。





# 高木館長の コラム



今、政府では「配偶者控除」の見直しが始まっています。国全体の所得税収を変えない範囲で、配偶者の年収制限をやや拡大し、世帯主の年収の上限を定めるといふ案が出ています。廃止の案も検討されたようですが、専業主婦世帯の反発に配慮したようです(朝日新聞11/17)。控除の対象となる配偶者の年収が、103万円以下だったものが150万円以下になったところで、パートの時間数が増える程度で、女性の就労を後押しする改革となるのでしょうか。女性の働く意欲を高め女性の力を発揮して日本の経済成長を維持することを目指す「女性活躍推進法」の趣旨からいえば、もっと抜本的な改革を望みたいものです。

(この他、我が国には「社会保険(健康保険・国民年金の3号被保険者)の扶養」制度もあり、加えて多くの企業等では「配偶者手当」も支給されています(人事院では国家公務員の配偶者手当を段階的に廃止・減額を勧告する方針を出したり、大手企業では配偶者手当を廃止し子ども手当などに振り替えるところも出てきて、見直しが始まっています)。

日本では長い間女性は結婚したら仕事を辞めて家事育児に専念し、男性は家族を養う働き手とするいわゆる性別役割分業を、これらの制度が後押ししてきたという背景があるので、社会経済情勢が厳しくなり、女性活躍推進あるいは働き方改革を進めなければならなくなっても、小手先の見直し案にしか見えないのは私だけでしょうか。

2015年時点で働く女性の56.3%が非正規雇用です(28年版男女共同参画白書内閣府)。その中には母子家庭も多く、貧困家庭の問題が深刻化しており、企業での非正規雇用から正規雇用の促進や貧困家庭の子どもへの援助など見過ごせない課題が多々あり、配慮すべき方向を見誤らないで欲しいと願っています。

## 図書コーナー のご案内

チェリアでは、男女共同参画の視点から図書・資料を収集しています。図書・資料の閲覧は自由です。館外貸出も行っていますので、ご利用ください。

<p><b>女性たちの貧困</b> “新たな連鎖”の衝撃 NHK「女性の貧困」取材班 幻冬舎 2014年</p>	<p><b>漂流少女</b> 一夜の街に 居場所を求めて— 橋ジュン 著 太郎次郎社エディタス 2010年</p>	<p><b>DV・虐待</b> 加害者の実体を知る —あなた自身の人生を 取り戻すためのガイド ランディ・パンクロフト 著 高橋睦子 中島幸子 山口のり子 監訳 明石書店 2008年</p>	<p><b>離婚後の 親子たち</b> 氷室かな 著 太郎次郎社エディタス 2005年</p>	<p><b>わたしは13歳、</b> 学校に行けず花嫁になる。 —未来をうばわれる 2億人の女の子たち 公益財団法人プラン・ジャパン 久保田泰代 寺田聡子 奈良崎文乃 著 合同出版 2014年</p>
<p><b>男が育休を取って わかったこと</b> 池田大志 著 セブン&amp;アイ出版 2014年</p>	<p><b>職場の LGBT読本</b> —「ありのままの自分」 で働ける環境を目指して 柳沢正和 村木真紀 後藤純一 著 実務教育出版 2015年</p>	<p><b>服を買うなら、 捨てなさい</b> 地曳いく子 著 宝島社 2015年</p>	<p><b>女・東大卒、 異国で失業、 50代半ばから生き直し</b> 栗崎由子 著 パド・ウィメンズ・オフィス 2014年</p>	<p><b>もっと上手に働きなさい。</b> —誰も教えてくれなかった 女性のための 仕事のルール 内永ゆか子 著 ダイヤモンド社 2013年</p>

— 新着図書の一例 —

**利用案内** ●場所/チェリア図書コーナー(遊学館2階) ●貸出/1人4冊まで、4週間以内に返却  
●利用時間/午前9時~午後5時 ●利用者/県内に在住、在勤、在学の方



**編・集・後・記** 白井さんの講演は、軽快な口調の中にもあったかさが詰まったお話でした。(昌子)  
チェリアフェス楽しかったあ〜。講演もよかった、おそばの振る舞い、バルーンアート!! (美紀)  
年々、秋の訪れを感じないまま、急に冬の寒さを感じます! (恵美)



**山形県男女共同参画センター チェリア**  
〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (遊学館 2階)  
TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752  
相談専用電話 023-629-8007  
URL <http://www.yamagata-cheria.org/>  
窓口受付時間 午前9時~午後5時  
休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始  
平成28年12月発行  
編集発行 ●(公財)山形県生涯学習文化財団



**【アクセス】**  
●JR山形駅から  
バス 市役所経由路線バスで  
市役所前下車、徒歩5分  
タクシー 約6分 徒歩 約25分  
●自動車  
山形自動車道山形蔵王ICから約10分。県営駐車場をご利用ください。  
(入退館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出しください。)  
(ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。)

チェリアのHPに  
アクセスできます